

平成26年度 第2回宝達志水町文化財保護審議会

日 時:平成27年2月18日(水) 午後2時～
場 所:宝達志水町生涯学習センターさくらドーム 21
2階 第2会議室

出席者

委 員 秋田会長、出倉副会長、山岸委員、法花堂委員、大窪委員、末森委員
事務局 勝二教育長、村井室長、北野主事

欠席者

委 員 村上委員

開会あいさつ

勝二教育長 あいさつ
秋田会長 あいさつ

議題(進行は、規定により会長が議長)

教育委員会諮問に対する審議 「ホクリクサンショウウオ【種】指定について」

秋田議長 それでは教育委員会諮問に対する審議を行います。

事務局より概要説明をお願いします。

事務局 石川県では「ふるさと石川の環境を守り育てる条例」を定め、特に保護の必要性が高い野生動植物を「石川県指定希少野生動植物種」として、これまでに20種を指定しています。

その中で、本町宝達山麓に生息している両生類「ホクリクサンショウウオ」が平成24年3月30日に「希少野生動植物種」として指定をされました。

現在、世界農業遺産区域の保護活動の中に「里山保全の取組と生物多様性」がうたわれ、絶滅危惧種、希少種の保護活動が進められています。

これらのことから、「能登の里山里海」に参加した宝達志水町の「ホクリクサンショウウオ」についても、保護・調査の対象とすべきと考えます。

ただし、サンショウウオは、環境の変化により生息域が変わっていくことと、詳細な所在地を明記すると、生息域が荒らされて絶滅する可能性が高いことから、他市町と同様の「種」指定とすることが妥当と考えます。

専門研究者からの説明

【秋田先生の研究者説明資料を参照してください。】

質疑

委員 他市町での指定状況は。

事務局 近隣では羽咋市が指定を行っている。

委員 「種」で指定する理由は。

事務局 動物は、移動する事から、範囲指定が難しい事と、石川県等の希少動物の指定が「種」として行われていることによる。

委員 場所指定にした場合、なぜ絶滅の危険があるのか。

事務局 絶滅危惧種を高額で売買の対象にする人たちがおり、場所を指定したため、すべて盗難にあつて、その区域で絶滅となる事例がある。

委員 管理者は誰になるのか

事務局 「種」指定の場合、ほとんどの例で、地方自治体が管理者となっています。当町についても「町」が管理者となります。現実に個人で「種」の保存・管理は無理と思われます。

議長 結論として、里山の麓でしか産卵しないホクリクサンショウウオ、世界農業遺産の典型的な指標として、絶滅させてはいけない。

町指定文化財として妥当との結論を答申でよろしいですか。

委員 【出席委員全員の承認】

議長 町指定として答申する事で決定しました。

議長 平成26年度文化財保護事業の報告

国指定文化財関係

平成25年12月の喜多家落雷被害からの復旧については、県文化財課・文化庁文化財部の指導を得、平成27年度において、防火設備の交換修理を実施する予定で、今年度2月中には補助事業手続きを開始。

県指定文化財関係

「岡部家災害対策工事」

平成25年8月の集中豪雨に伴う土砂崩れに対し、後背斜面の安全対策工事を完了。斜面工事中に不時発見された横穴については、本日の資料に添付したものを、能文連事業で改めて報告する。

平成24年度に老朽化で機能しなくなった岡部家消防ポンプ設備については、石川県補助事業として実施・完了。

「ゼンショウジキクザクラ等、文化財への自然災害」

5月に枯死した枝部分の切除を、千木先生(樹木医)の指導の下実施し、施肥としてグリーンパイルを打った。

12月、湿った雪による着雪で、枝折れの被害が発生。出倉副会長より報告

を受け、県教委並びに千木先生に報告、雪解け後に処置について指導を受ける事とした。

この着雪による被害は、喜多家樹木の倒木・枝折れ、岡部家樹木の枝折れ、末森城竹折れで登山道が塞がれたり、土砂崩れ等が発生。

委員 2月のパトロールで末森城登山道の倒木・竹折れで道がふさがっていたのも対応したのか。

事務局 TBS「世界ふしぎ発見」の取材で、末森城跡の撮影があったため、職員と竹生野の方で作業を実施した。

第1回文保審で報告した、末森城跡については、地権者の了承を得た区域での倒木処理、個人作業道の一部修理等を、27年度に実施する予定で予算要求を実施。

町指定文化財関係

現在、廃止された石川県放牧場敷地内に町指定史跡である「坂手山縄文住居跡」が存在しており、今後敷地が石川県によって売却される可能性が高いことから、史跡部分の町有地化について、町担当課を通じて取得をお願いしていきます。

その他

埋蔵文化財保管施設の問題について

現在、埋蔵文化財の出土品は、さくらドーム1階「パフォーマンスホール」、子浦「協業センター」、吉野屋「志雄体育館プレハブ」、嵯峨井コレクションを「押水図書館」に保管・管理してきたが、宝達志水町公共施設統廃合計画により、押水図書館が廃止となった。

現在まで、保管場所として使用していた協業センターにおいては、雨漏りなどが生じており、旧押水図書館を収蔵・展示施設として再利用をお願いしていく。

委員 町として展示場所が無い、今後町内外の人に町の歴史を知ってもらう役目を担うものとして、空施設の利用を進めては。

委員 町内の作家さんの展示などについて、使用できる施設は確保されるのか。

事務局 まだ、決定しているわけではなく、27年度から計画を進めたいと考えている。

町文化財保護審議会委員の改選について

事務局 状況を説明後、旧志雄区域から専門研究者1名の推薦をお願いした。

議長 全員留任でお願いします。役員については27年度で改選について審議したいと思います。

平成27年度能登文化財保護連絡協議会総会について

開催地 七尾市 平成27年9月下旬～10月初旬

次稿の〆切日 平成 27 年 5 月 29 日(金)

事務局 岡部家斜面安全対策工事で発見された、横穴墓について、県教育委員会文化財課、県埋蔵文化財センターの現地確認等を経て、埋蔵文化財「荻谷テラジ横穴群」として登録されました。

対外的に発表する場が無いとため、県と相談のうえ、能登文化財保護連絡協議会の会誌に掲載できないか相談しており、委員の皆さんには、次年度の宝達志水町分のページを事務局にお願いいたしたく相談申し上げます。

議長 原稿を予定している方、今回は事務局に依頼してよろしいか。

委員 異議なし

意見交換

委員 アサギマダラや紋平柿・菅原こんねる柿など、地域の話題性だけで観光用に文化財などの指定は出来ないか

事務局 紋平柿は、かほく市が原木の主張を広報しています。「菅原こんねり」は、近年に種無しの商品改良事業が県で行われています。

委員 こんねる柿は、伝承では、中の柿の種が「子に似る」から「こんねる」で、種を無くしてはいけないと思うが。

委員 アサギマダラは、金沢市の先生方の指導により、町内の小学校で継続して行われてきた。

委員 石川県だけでなく全国に生息が広がっており、海外にもわたっていく蝶

事務局 宝達志水町単独で文化財の指定は難しい【誰が、調査研究をし、保存保護を講じていくのか】

閉会あいさつ

出倉副委員長 閉会あいさつ

現場確認 サンショウウオ産卵区域